

学区探訪

十・十七

郷土資料の

百一号

） 続 ・ 焼夷弾投下 ）

昭和二十年三月十八日の上大門での焼夷弾投下は矢作川や池に落ちたので、被害は草やわらが燃えただけでした。家や人が傷つくことはなかったのですが、焼夷弾を束ねていた鉄製バンドの破片が村に落ちてきたので、屋根の上などで拾ったそうです。

どうして大門に焼夷弾を落としたのか、よくわからないのですが、当時大門の池のほとりに小屋があり、その小屋の灯りが消

し忘れてあったので、それを目がけて投下したのではないかとされています。またアメリカ軍が三月十八日名古屋大空襲の残りを捨てていったとも言われていますが、本当の理由はわかりません。池のほとりの小屋というのは、昔、大門池で鮎の養殖を始めた人がいて、その鮎の養殖の管理をした小屋です。焼夷弾が落とされた昭和二十年には鮎の養殖はもう行われてはいなくて、ユニチカへ水を送るポンプ小屋になっていました。鮎の養殖やポンプ小屋のことは、昔の大門池の水量の豊富さを示しています

学区探訪

十・十八

郷土資料の

百二号

） 戦時中の学区 ）

上大門の八剣神社に「満州事変・日支事変・大東亜戦争従軍之碑」が立てられています。この碑によると、大門の戦病死者は十二人、従軍者が四十五人いました。藪田の八幡宮には「忠烈之碑」が立てられておりこれには八人の戦没者の名前が刻まれています。昭和十九年から二十年にかけて戦没しており、場所は中国・マリアナ島・フィリピン・硫黄島などです。

矢作川をはさんで、上大門の対岸である北野には海軍航空隊がありました。この航空隊はよくアメリカ軍の空襲を受けました。北野を攻撃したアメリカ軍機は矢作川を越え、大門の上空で急旋回してまた北野へ向かいます。その時、大門の上空で弾丸の薬きょうをバラバラと落としていきました。空襲警報でみんな家の中へ逃げこんでいたのですが、この薬きょうが降ってくるのがとてもこわかったそうです。

古い岩津町誌を読むと、日露戦争の従軍者や戦没者が載っています。

学区探訪

十・十九

瀬田市の

百三号

（なす苗組合）

今では、下大門というとしめ縄が有名ですが、しめ縄の生産が急激に伸びたのはここ十数年のことであり、それまでは下大門といえはなす苗の生産で有名でした。

なす苗組合は戦前からあったのですが、なす苗の生産が最盛期を迎えたのは昭和三十年代から四十年代の初めにかけてでありつまり区画整理の前が最盛期であったという事になります。そのころ組合員は四十

人もいました。下大門を中心にして中大門が三分の一ぐらい、そして上大門も数件の農家がなす苗組合に参加していました。苗はなすが中心ですが、スイカ・玉ねぎ・トマト・きゅうりなどいろいろの苗を取り扱っていました。愛知県内では尾張地方の三好・春日井・一宮へ、東三河では豊橋・新城・渥美半島の先端まで出荷しました。さらに三重県の伊勢・鳥羽までも売りに行ったことがあるそうです。豊橋・渥美はスイカの産地ですので、スイカの苗が売られて行きました。

学区探訪

十・二十一

瀬田市の

百四号

（続・なす苗組合）

下大門でしめ縄作りが農業の中心になるのは昭和五十年近くになってからであり、それまでは下大門の農業の中心はなす苗でした。下大門の公民館へ行くと、なす苗組合がもらった岡崎市の感謝状や総理大臣、農林大臣が書いた額が飾られています。下大門はなす苗の産地として有名だったので

ところが、昭和四十年から区画整理が始

まりました。下大門は早かったので四十年代前半で区画整理が終了しました。そうになると耕地が減少するので苗を作ることができなくなり、みんなハウスや造園に転じてしまいました。また減反政策で青田刈りによるしめ縄が名古屋へ売られるようになってからしめ縄も大量に作られるようになったのです。一昨年まで三件の農家が苗を作っていたのですが、今では一件だけになってしまい、なす苗組合は消滅したような状態になってしまったのです。造園業は下大門・大樹寺で発展しました。

学区探訪

十・二十三

郷土資料の
百五号

学区人物史伝

岩津町史を読んでいると、人物史伝といふところに学区の昔の人たちが紹介されています。篤行家・孝子・社会事業家・篤農家などがでてきます。

上大門の次郎左衛門さんは、農業に励み両親に孝行を尽くしたので、文政四年（一八二一）に領主である岡崎の殿様から米三俵と白銀二枚を頂きました。下大門のそもさんは、孝心が厚いということで嘉永二年

（一八四九）に御領主岡崎様から麦三俵をほうびにももらいました。中大門の重蔵・そでの夫婦は家計が豊かではなかったが家業である農業にはげみ、貧苦の中にありながらよく親に仕えたので、文久三年（一八六三）に岡崎様から麦三俵・銀二両をほうびにももらいました。上大門の善吉さん・大門新田の直蔵さんも親孝行で、何事も手足のごとく世話をし、父の帰りがおそくなると風雨夜中の別なく迎えに行き、食事も両親より先にすること一度もないほどでしたので、御領主様からほうびを頂いています。

学区探訪

十・二十四

郷土資料の
百六号

続・学区人物史伝

上大門にある八剣神社の鳥居に服部太郎吉の名前が刻みこまれています。服部太郎吉といえば、戦前に鍋釜の鑄造で日本一の産額を誇った服部工業の創立者です。岩津町誌に社会事業家として服部太郎吉が紹介されています。太郎吉は万延元年（一八六〇）に上大門中根氏の二男に生れ、十二歳で鑄物職服部氏の養嗣子となりました。明治二十八年、旧岡崎藩御用鑄物師の工場を

借りて創業しました。事業が発展して大正時代には鍋釜鑄造界において日本一となり海外にまで販路を広げました。そして社会事業の一つとして服部公益財団を設け、岡崎工業学校などの助成に努めたのです。

岩津町誌には篤農家として市川幸次郎が登場します。幸次郎は慶応二年（一八六六）大樹寺に生れました。稀に見る熱心な農事改良研究家で大正十三年、農林省農業経営改善調査農家の指定を受けたのです。この篤農家の名は遠く九州東北にまで至り多くの来訪者があつたということです。

学区探訪

十・二十五

郷土資料より

百七号

大門村俵約規定

上大門に「俵約規定」というのが伝えられています。これは明治十八年八月に定められたもので、ぜいたくをしないように大門村の人たちが話し合いによって俵約のきまりを定めたものと考えられます。俵約規定の内容を紹介します。

第一条 俵約ハ奢侈冗費ヲ省ク目的ヲ以テ
設ケタルモノトス

第二条 二名以上列座シテ酒席ヲ設ケザル

モノトス

第三条 衣服ハ男女共必ズ綿布ノ外着用ス

ベカラズ

第四条 履物ハ差齒ノ外着クベカラズ

第五条 婦女ノ理髪ハ互ニナスモノトス

全部で三十五条まであり、生活の細かなところまで俵約のきまりが定められています。明治時代といえば、文明開化などはなやかな時代と思いがちですが、文明開化は都市でのできごとであり、大門村のような農村では江戸時代とさほどかわらない厳しい生活が続いていたようです。

学区探訪

十・二十六

郷土資料より

百八号

続・俵約規定

大門村の俵約規定には出産・葬儀・婚礼などの儀式におけるきまりも定められています。例えば出産の場合、

第十一条 振舞ハ一汁二菜トス。酒一升ヲ
用ヒ魚ハ必ズ用ユベカラズ

葬儀の際の香典料も決められています。

第十五条 香資料ハ父子兄弟ノ外、貧富ヲ
論ゼズ金三銭ヨリ多カラザルモ
ノトス

葬儀の振舞いは次のようです。

第十四条 葬儀執行ノ振舞ハ一汁二菜トス
酒ハ僅少ト雖モ一切用ユベカラ
ザルモノトス

婚礼の引出物はなしで、嫁に来たら部落の総代さんにあいさつに行きます。

第十七条 婚儀執行ノ振舞ハ膳附ノ外、夕
トエ僅少ノモノトモ引物等ハ一
切セザルモノトス

第十八条 入嫁セシ者ノ父或ハ兄等ニテ必
ズ部惣代人エ挨拶ニ出頭スルモ
ノトス

学区探訪

十・二十七

郷土探訪の

百九号

命塚

水郷地帯へ行くと、洪水時における避難場所として水屋があることはよく知られています。実はこの大門学区にも洪水にそなえた緊急避難場所があったのです。それが大樹寺にある「命塚」なのです。

命塚は大樹寺の市川敬司さん宅の南にあります。立派な石垣の上に木造の家屋が建てられています。石垣は高さ約二メートル半、南北が約十四メートル、東西が約十二

メートルあります。命塚は約百年前、明治時代の半ばごろに作られました。当時の村人がもつこで畑の土を担いで築き上げた石垣です。自分や家族の命を守るために、重い土を肩に担ったのでしょう。この命塚は大樹寺村の村人が協力して作った、村の共同避難場所なのです。石垣は水につかっても崩れないように、内と外の二重に積まれています。石垣の上に建てられた家屋もしつかりできています。伊勢湾台風の際に大樹寺で四件の家が倒れたそうですが、その時もこの命塚は大じょうぶでした。

学区探訪

十・二十八

郷土探訪の

百十号（最終号）

続・命塚

洪水の時、避難は一刻をあらそいます。昔、大水がでた時、大樹寺村の人たちは職田の大樹寺へ逃げました。しかし、逃げる間がない時や足腰の弱い者にとっては、近くに緊急の避難場所が必要です。そこで明治時代に村人が協力して命塚を作ったのです。当時は矢作川の様子は今と全然ちがいました。河床が高く水量も豊富でした。そして堤防が今よりかなり低かったのです。

堤防から湧き出てくる水は早川となつてとうとうと流れていました。大樹寺村には早川の水を使って水車を回し、米つき業をする人もいたほどです。矢作川は常に堤防決壊の危険があったのです。そこで作られた命塚ですが、明治に作られてから一度も実際に避難したことはないそうです。伊勢湾台風の際に数時間だけ命塚に人が集まりましたが、大樹寺小学校へ避難命令が出て移動しました。伊勢湾台風後に堤防がさらに強化され、もう命塚は必要なかろうということ、市川さんに払い下げになりました。